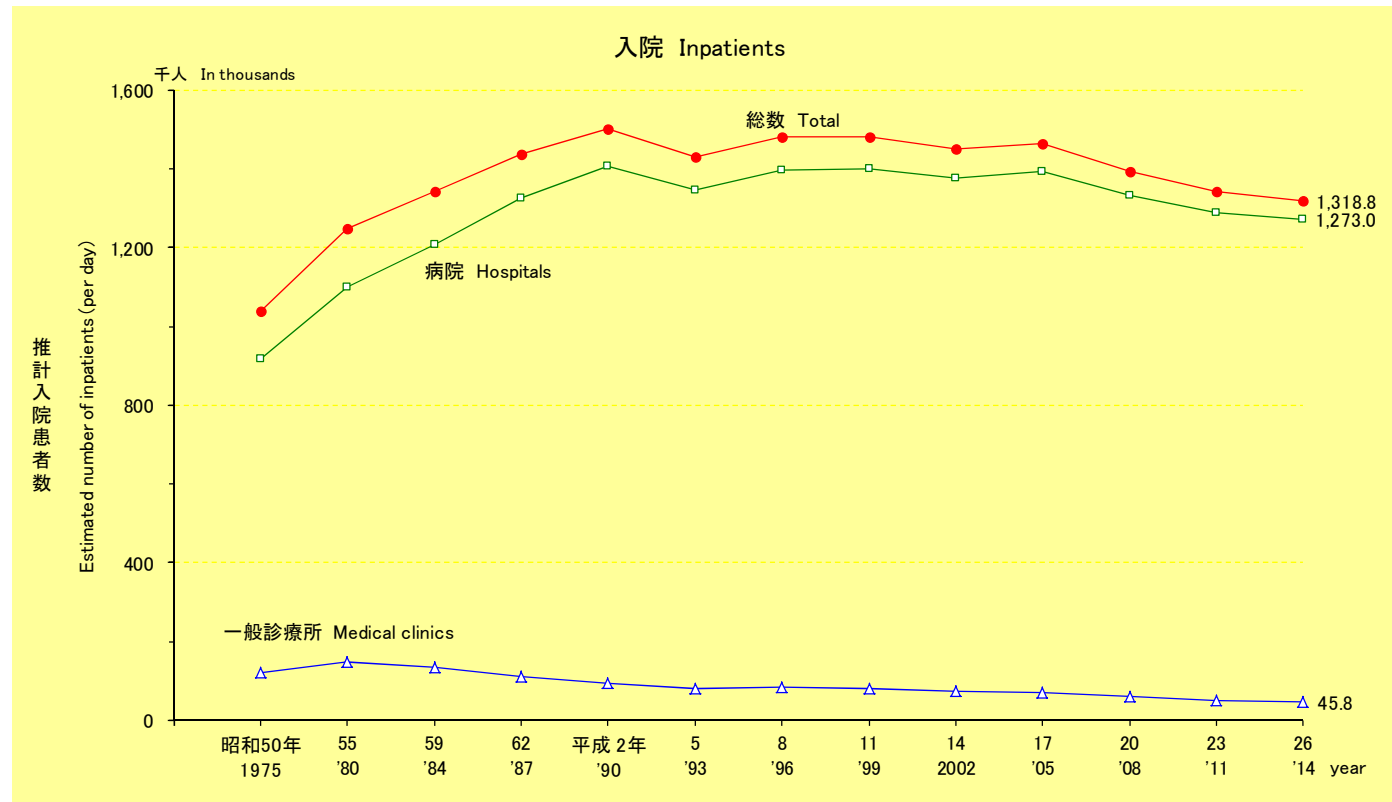


# 1. 患者の動向 -Patients-

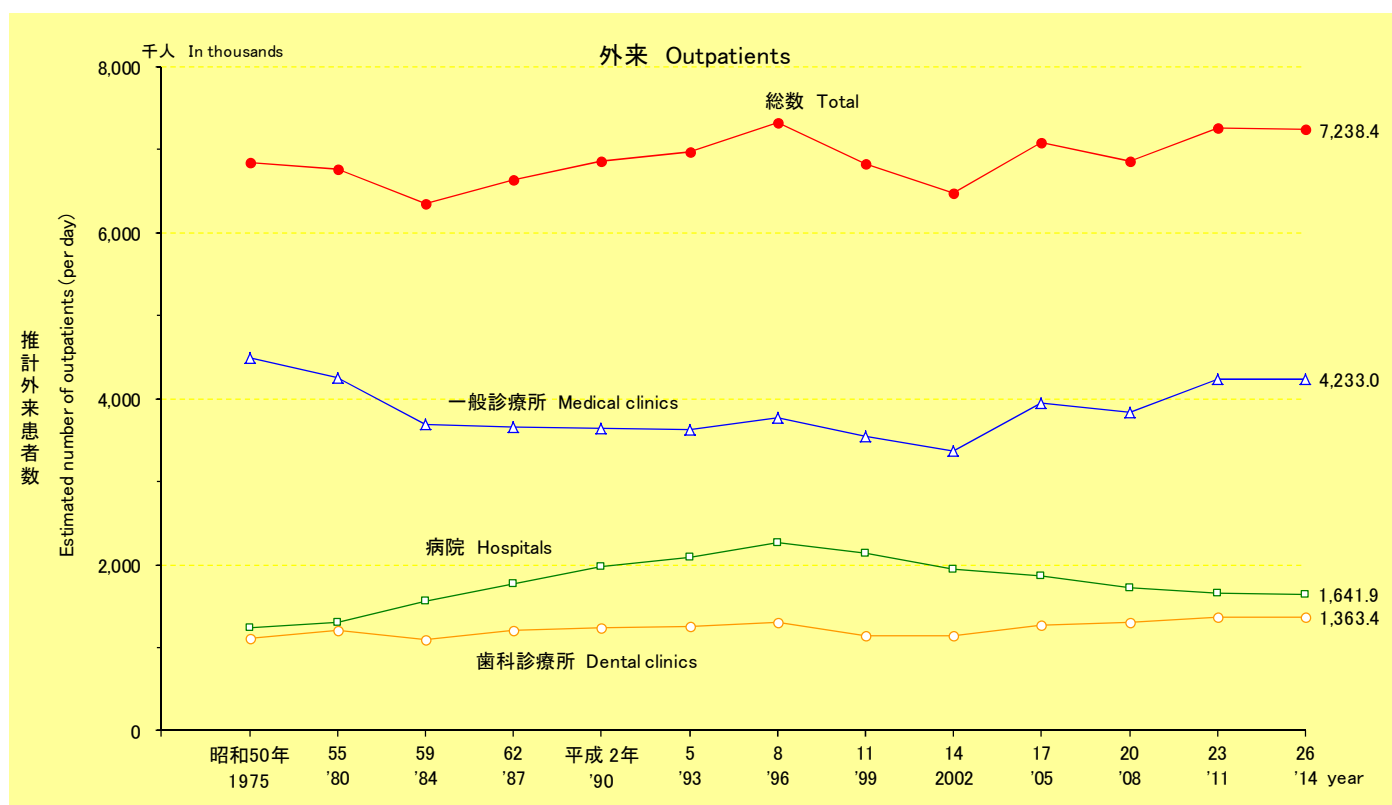
「入院患者数」は平成 20 年から減少、  
「外来患者数」は平成 17 年からほぼ横ばい

1-1 医療施設の種類別にみた推計患者数の年次推移 ー昭和 50 年～平成 26 年ー

Trends in estimated number of patients (per day) by type of health care facilities, 1975-2014



(患者調査)  
(Patient Survey)



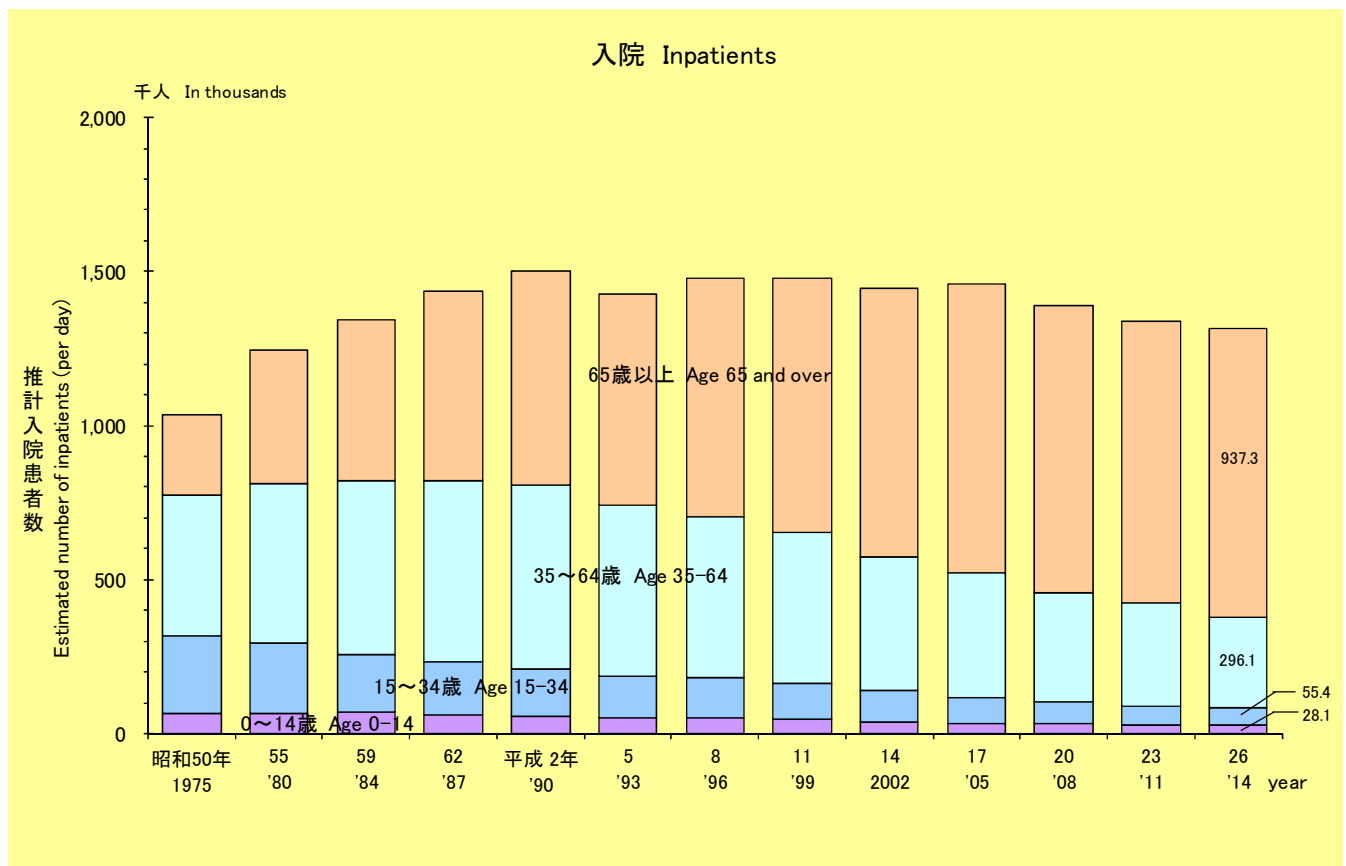
注: 平成23年は宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(患者調査)  
(Patient Survey)

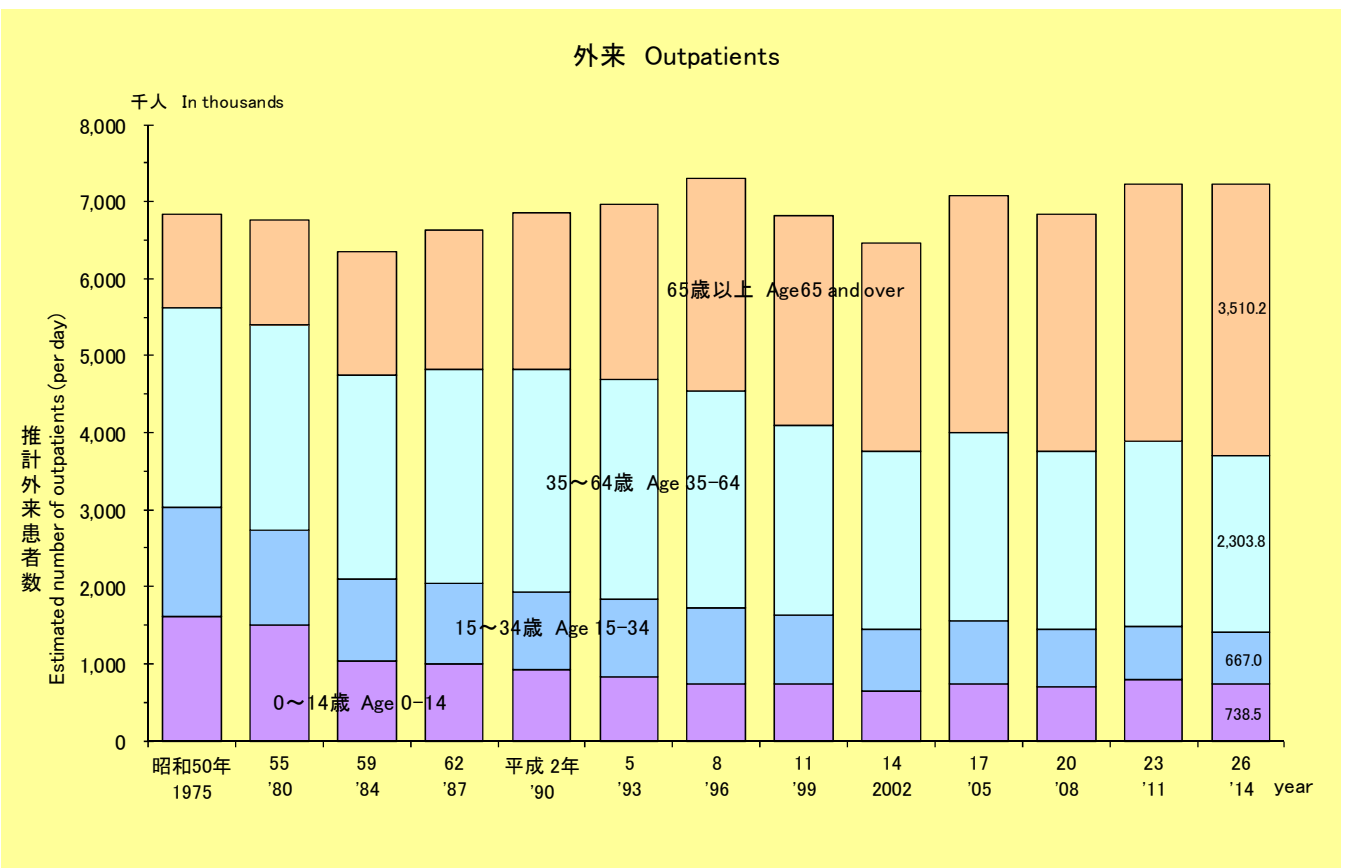
## 入院、外来ともに「65歳以上」の患者が増加傾向

1-2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移 ー昭和50年～平成26年ー

Trends in estimated number of patients (per day) by age group, 1975-2014



(患者調査)  
(Patient Survey)



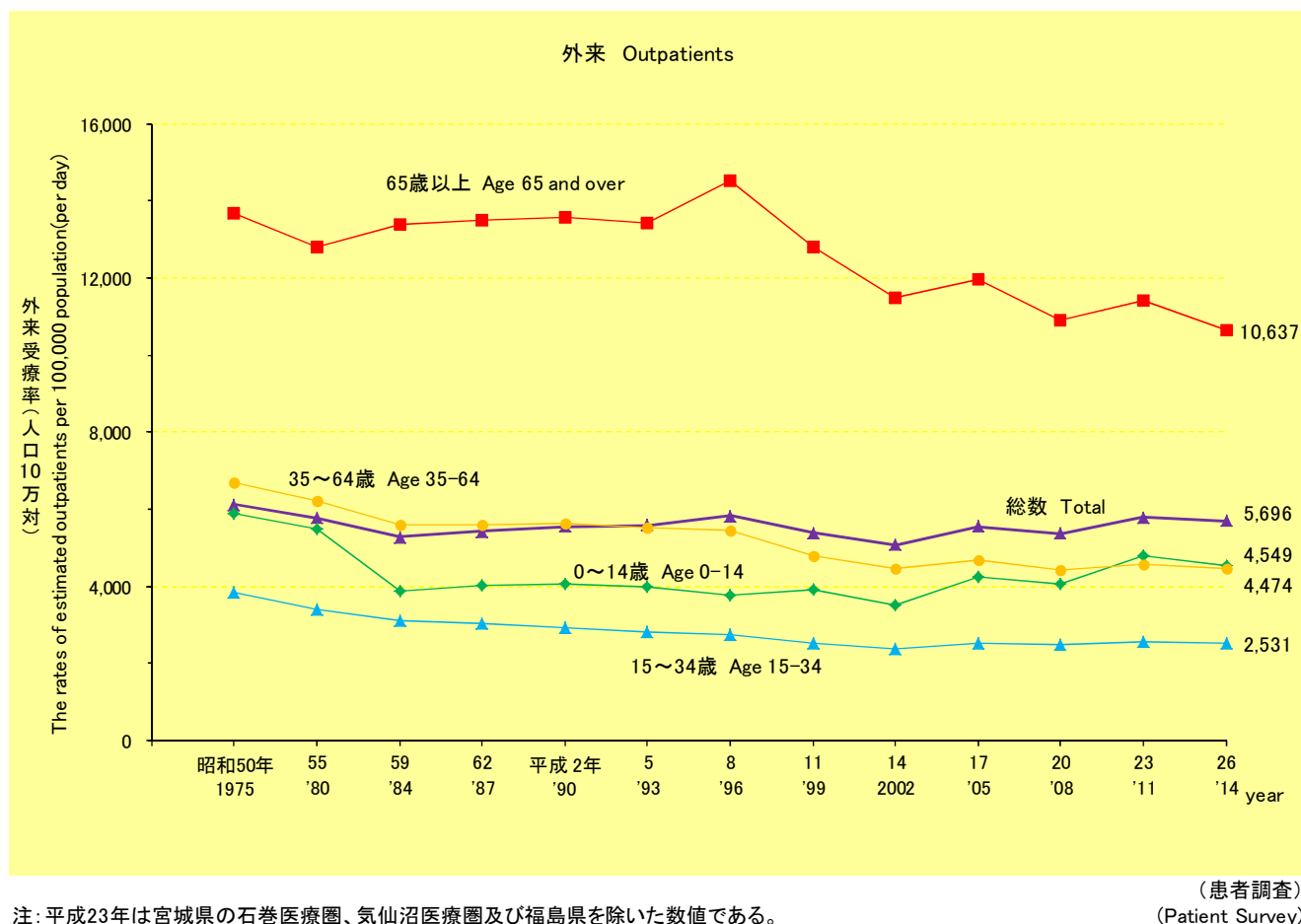
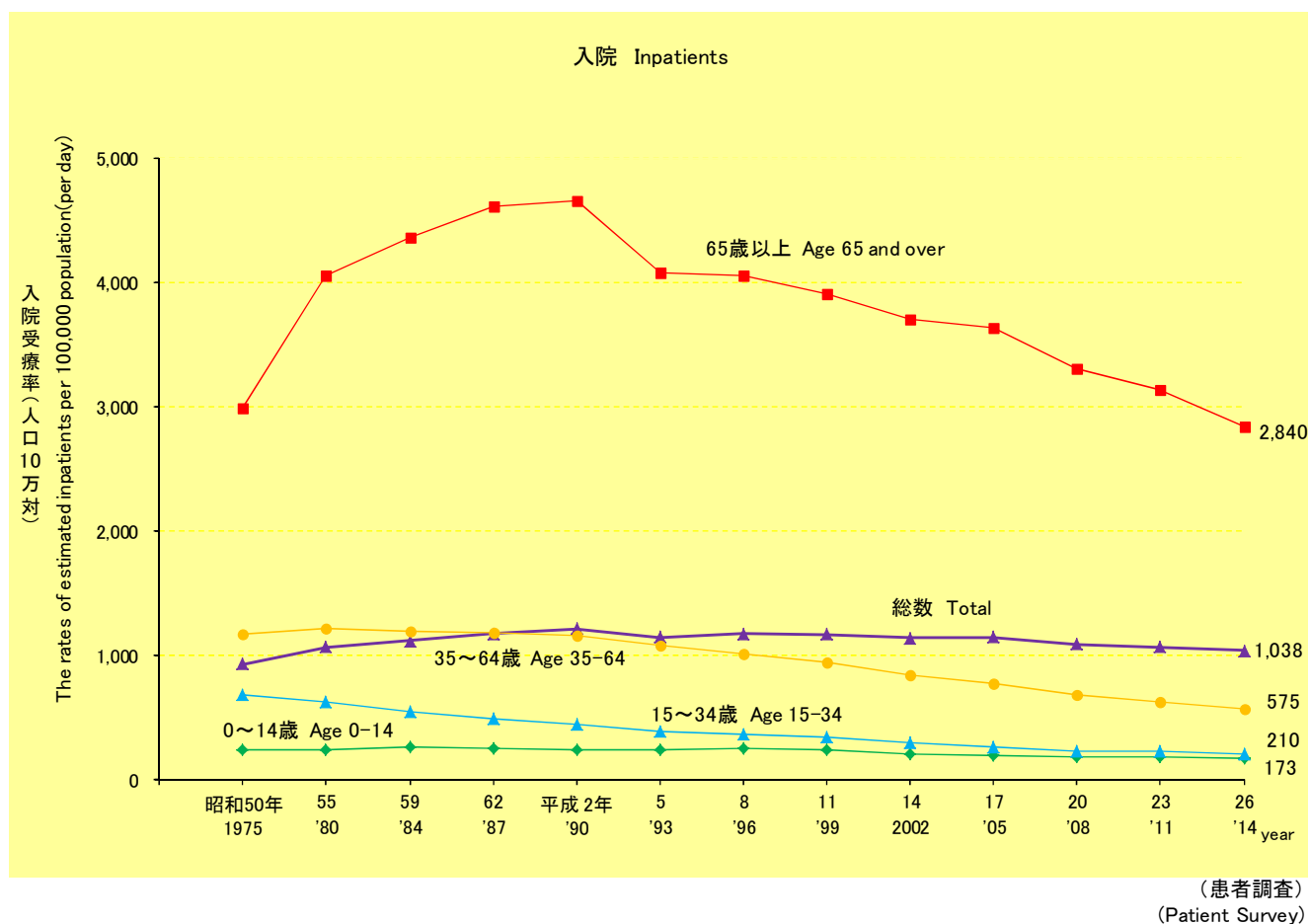
注: 平成23年は宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(患者調査)  
(Patient Survey)

## 入院受療率は低下傾向、外来受療率は平成 26 年は低下

1－3 年齢階級別にみた受療率(人口 10 万対)の年次推移 ー昭和 50 年～平成 26 年ー

Trends in the rates of estimated patients per 100,000 population (per day) by age group, 1975-2014



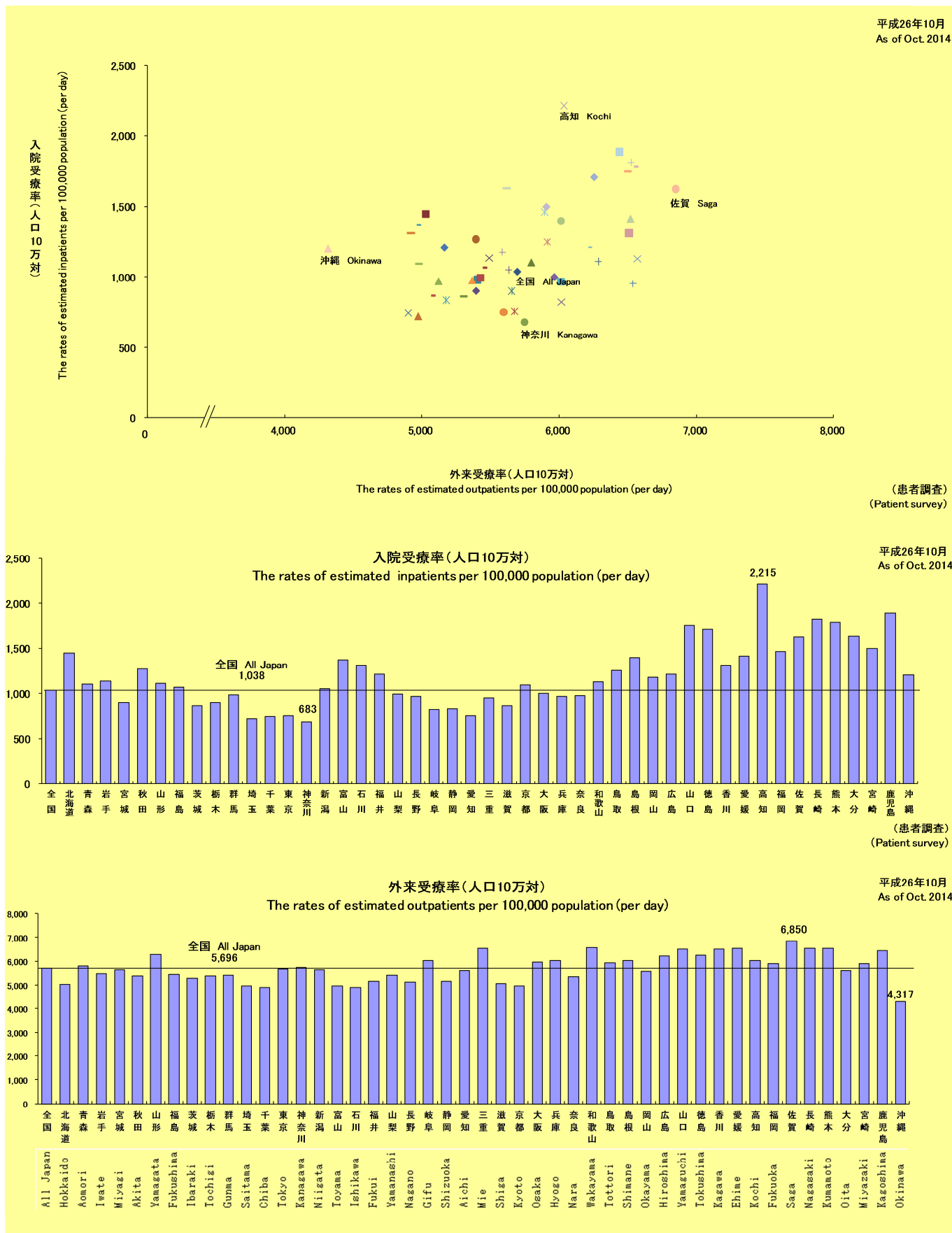
注: 平成23年は宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

「入院受療率」は高知が 2,215 と最も高く、神奈川が 683 と最も低い

「外来受療率」は佐賀が 6,850 と最も高く、沖縄が 4,317 と最も低い

1-4 都道府県別にみた受療率(人口 10 万対) ー平成 26 年ー

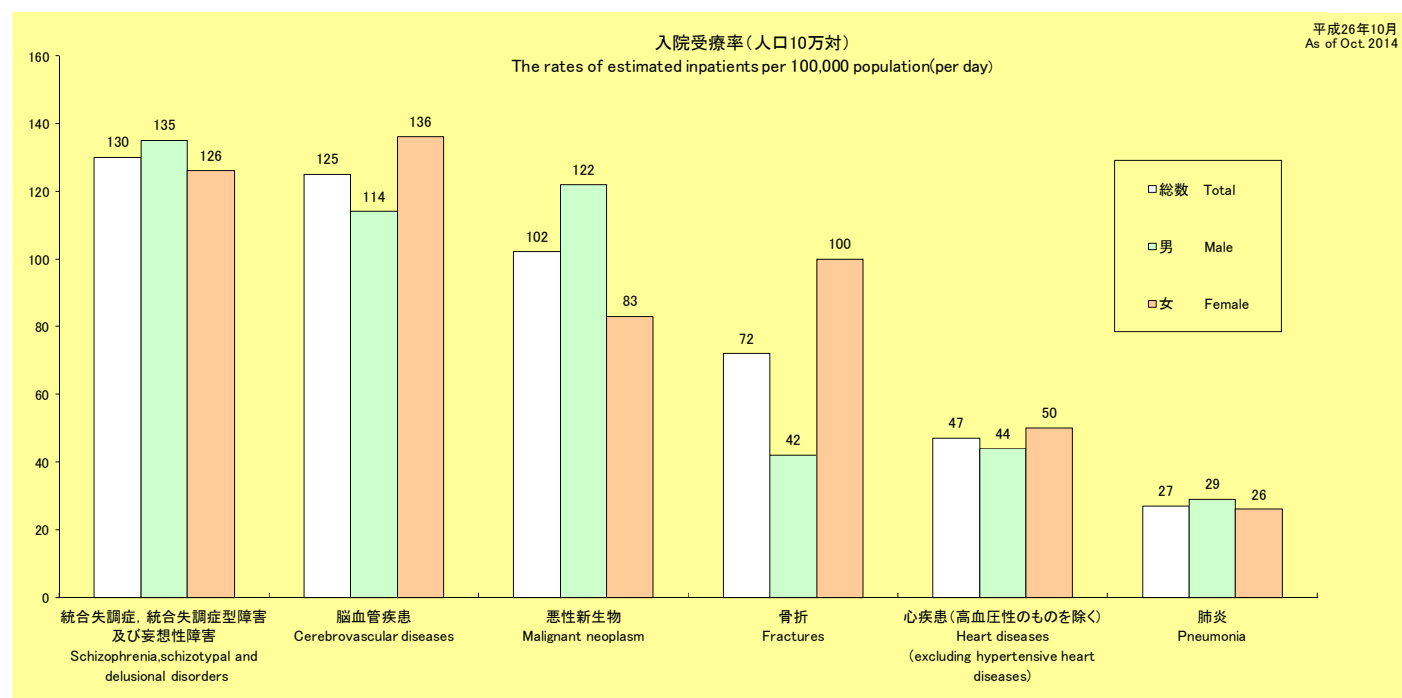
The rate of estimated patients per 100,000 population (per day) by prefecture, 2014



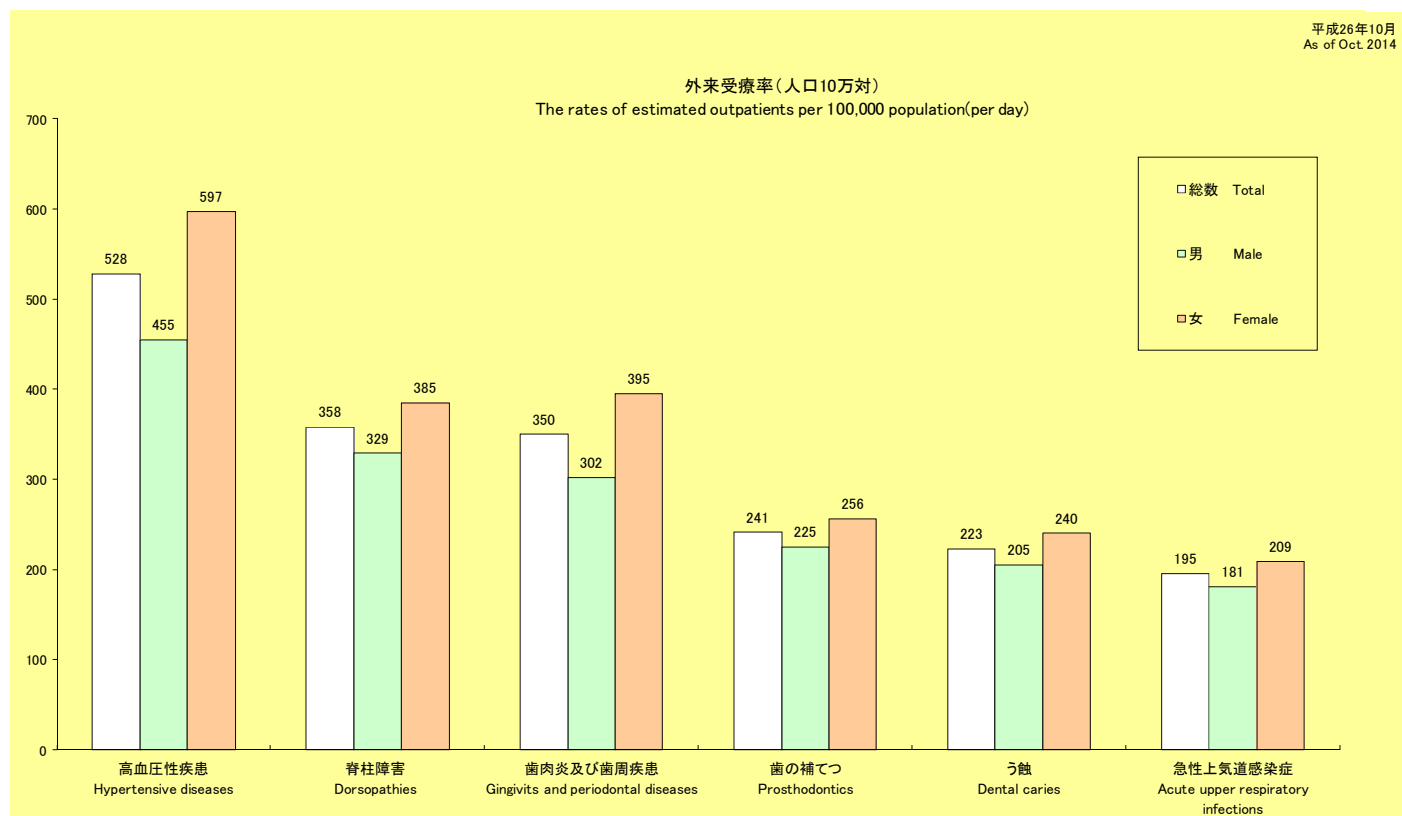
入院では、男は「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害」、女は「脳血管疾患」が最も多い  
 外来では、男女ともに「高血圧性疾患」が最も多い

1－5 主な傷病の受療率(人口 10 万対)－平成 26 年－

The rates of estimated patients per 100,000 population (per day) by major disease and sex, 2014



(患者調査)  
 (Patient Survey)



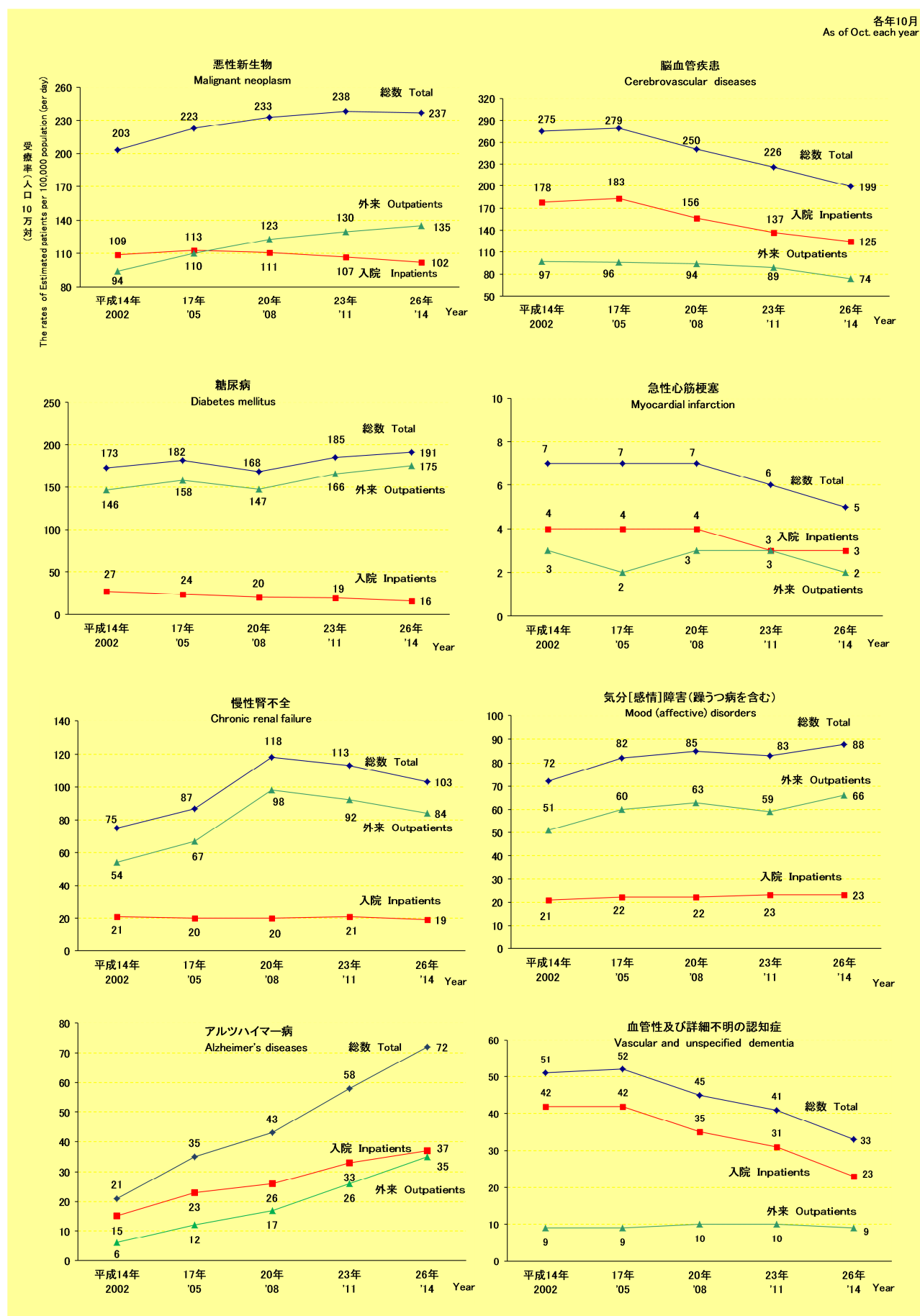
注：入院・外来別に各々受療率が高い傷病を掲載した。

(患者調査)  
 (Patient Survey)

## アルツハイマー病は近年増加傾向

1-6 主な傷病の受療率(人口 10 万対)の年次推移 —平成 14 年～平成 26 年—

Trends in the rates of estimated patients per 100,000 population (per day) by major disease, 2002–2014



注:平成23年は、宮城県石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(患者調査)  
(Patient Survey)

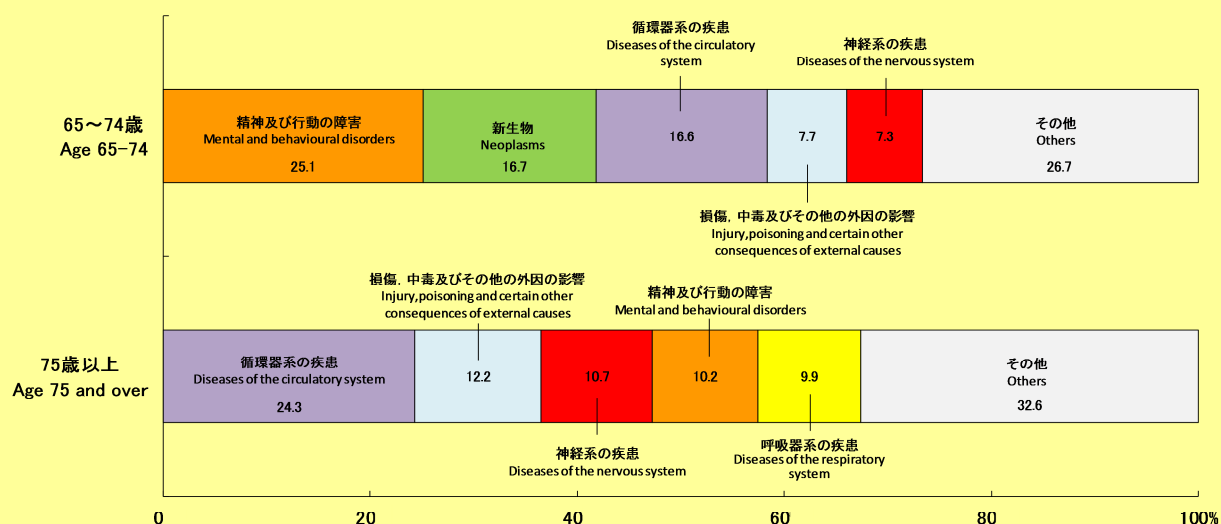
## 75 歳以上では、入院、外来ともに「循環器系の疾患」が最も多い

1-7 65 歳以上の者の傷病分類別にみた推計患者数の構成割合 ー平成 26 年ー

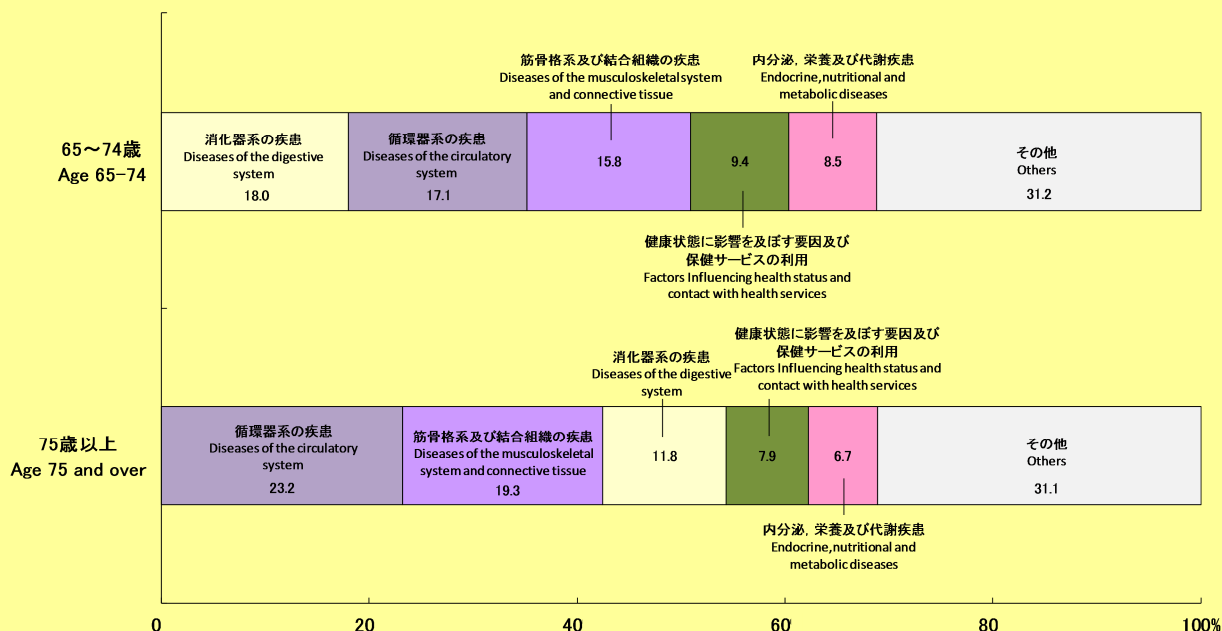
Percentage distribution of estimated number of patients of age 65 and over by classification of diseases, 2014

平成26年10月  
As of Oct. 2014

### 入院 Inpatients



### 外来 Outpatients

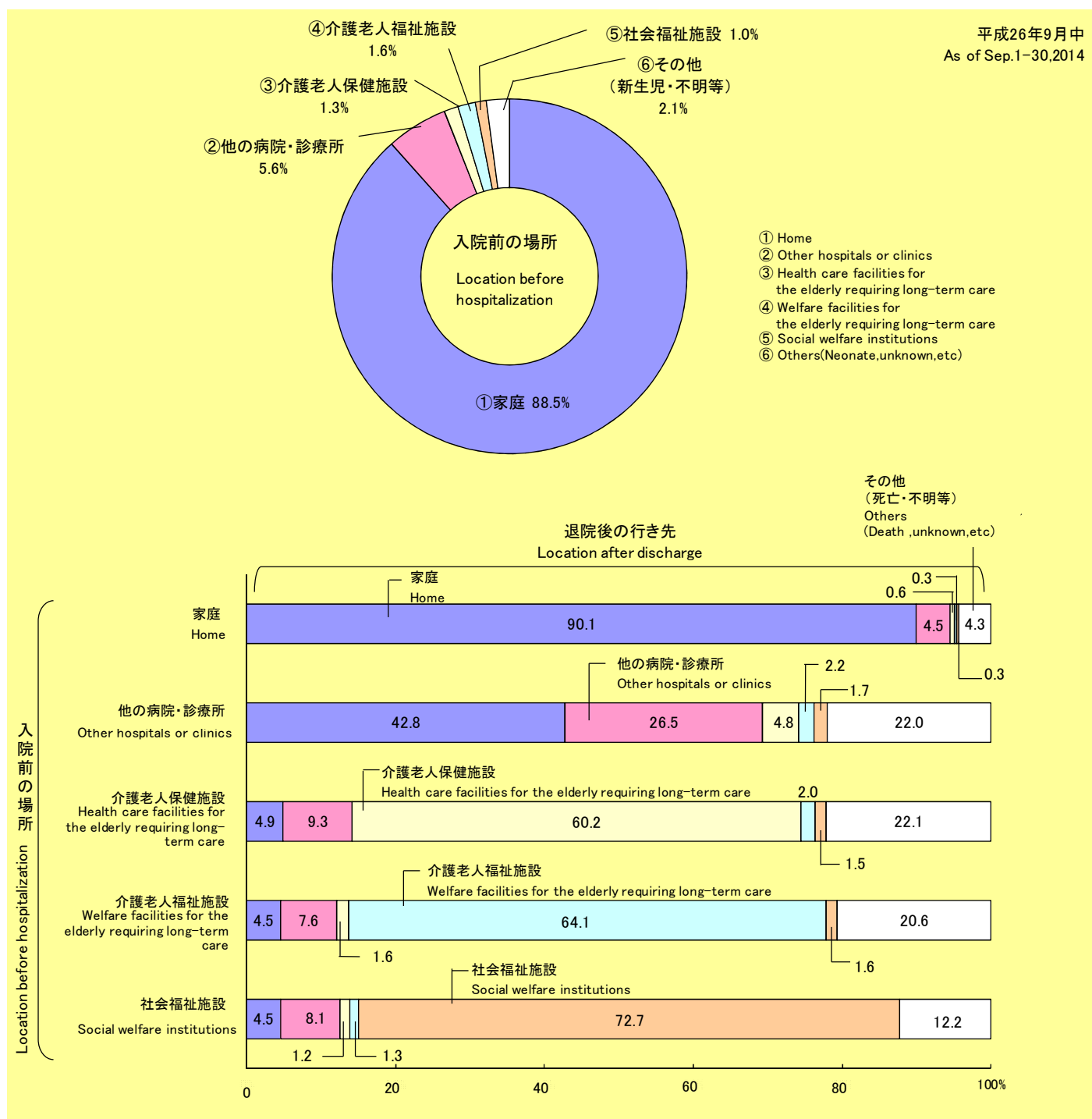


(患者調査)  
(Patient Survey)

# 入院前、退院後の場所は、「家庭から家庭」へ、「施設から施設」が多い

1-8 入院前の場所別にみた退院患者の退院後の行き先別構成割合 ー平成 26 年ー

Percentage of patients by location before hospitalization and after discharge, 2014



(患者調査)  
(Patient Survey)

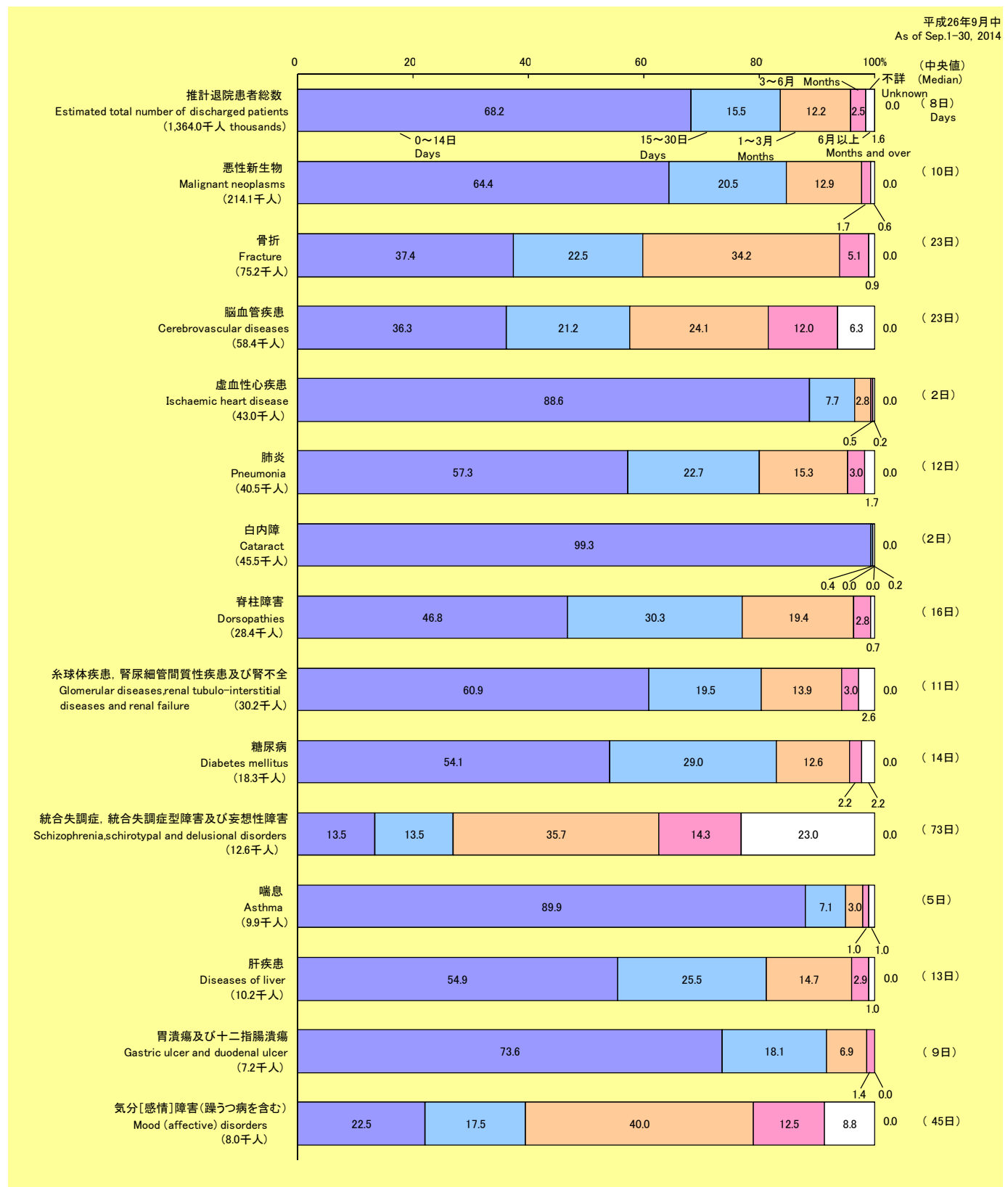


## 約 7 割は「2 週間以内」に退院

## 統合失調症等では在院期間の長い患者が多い

1－9 主な傷病別にみた退院患者の在院期間別構成割合 ―平成 26 年―

Percentage distribution of length of stay of estimated discharged patients by major diseases, 2014



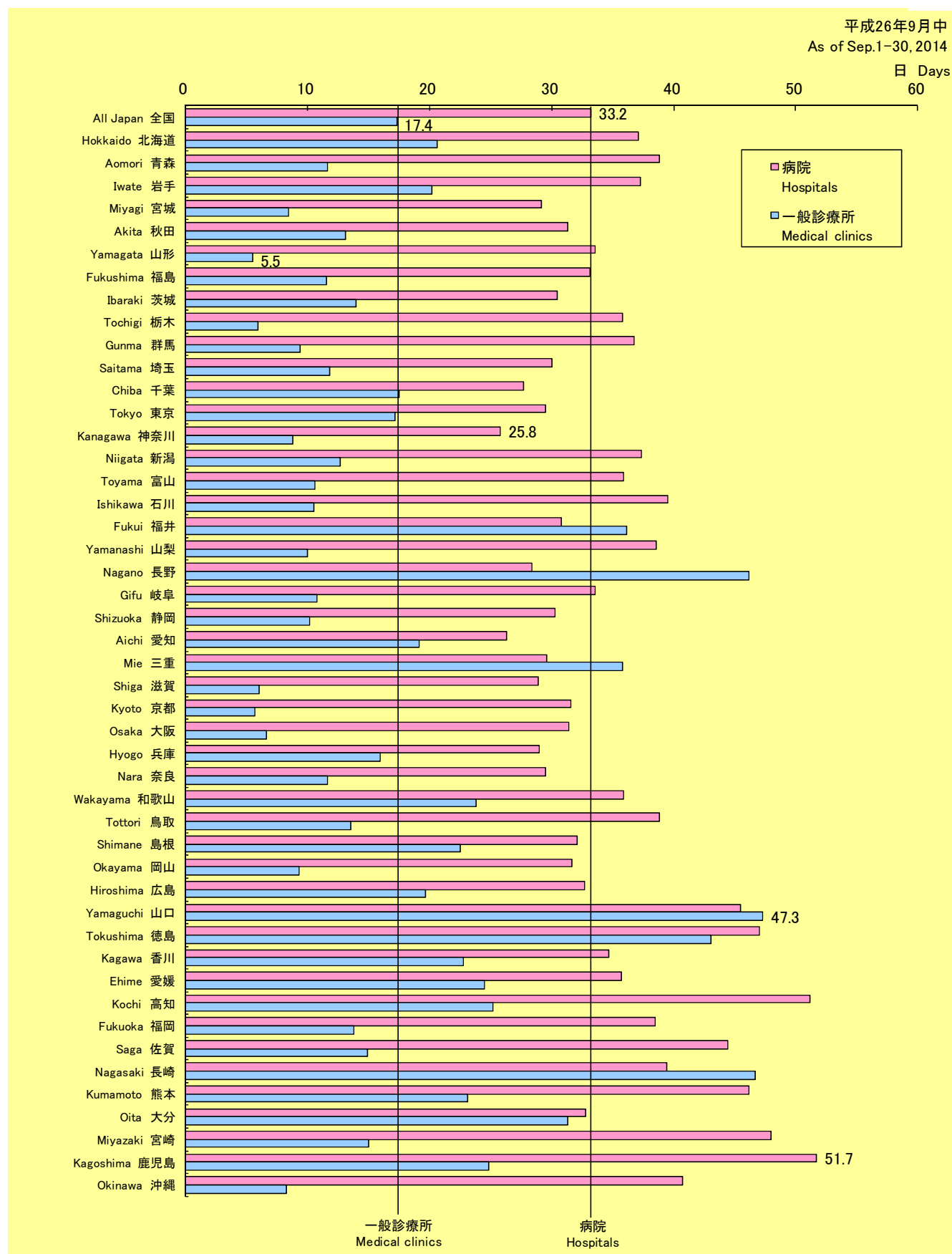
(患者調査)  
(Patient Survey)

「退院患者の平均在院日数」は、病院では最長が鹿児島 51.7 日、最短が神奈川 25.8 日

一般診療所では最長が山口 47.3 日、最短が山形 5.5 日

1－10 都道府県別にみた退院患者の平均在院日数 ー平成 26 年ー

Average length of stay for estimated discharged patients by prefecture, 2014



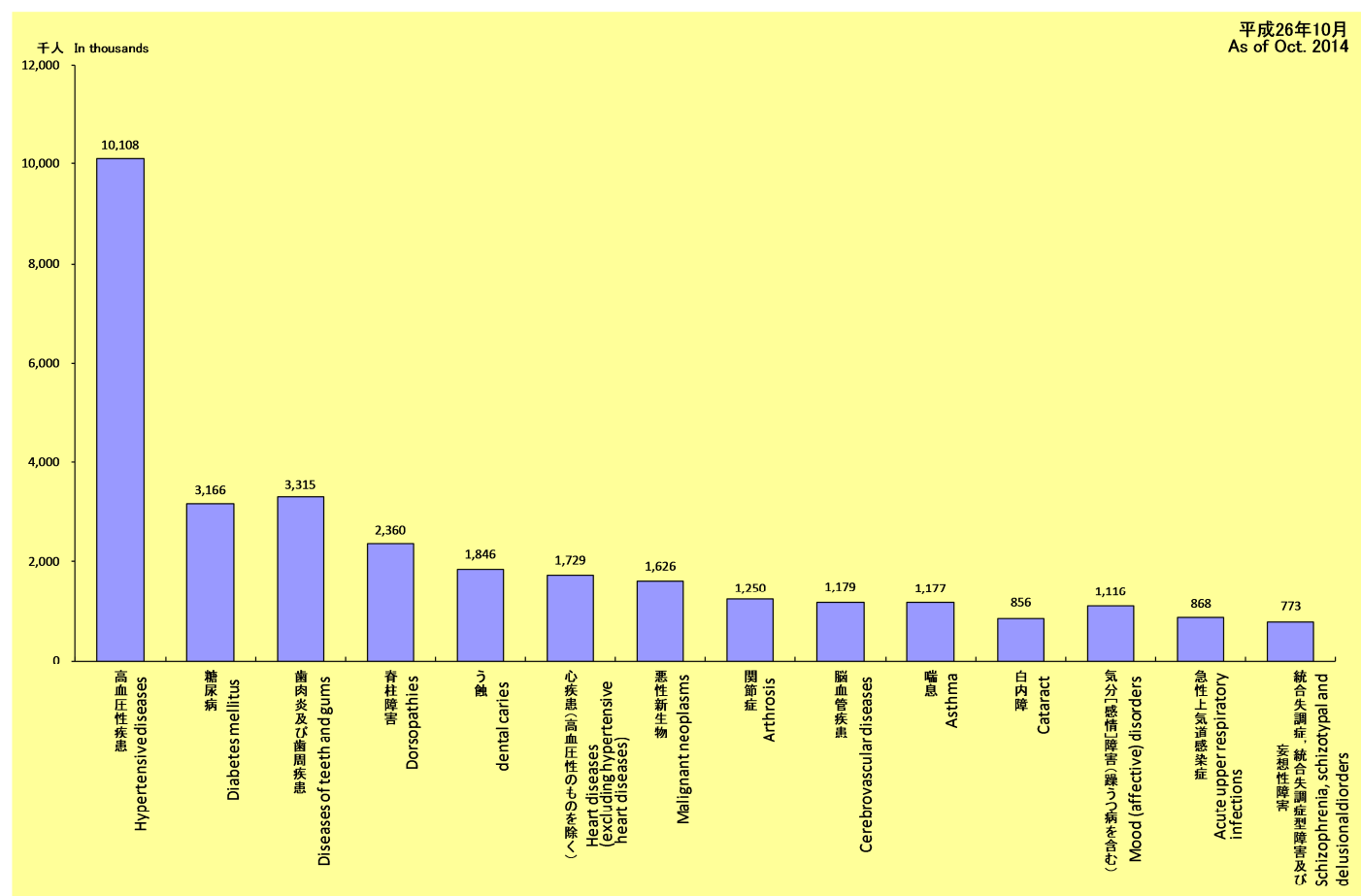
注：患者住所地別に集計したものであり、全国には住所不詳を含む。

(患者調査)  
(Patient Survey)

## 「高血圧性疾患」の総患者数は 10,108 千人

1－11 主要な傷病の総患者数 ー平成 26 年ー

Estimated number of patients receiving medical treatment for major diseases, 2014

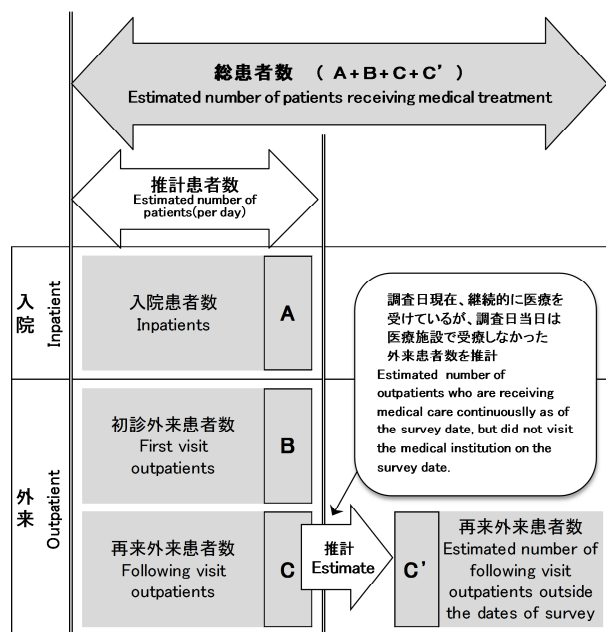


(患者調査)  
(Patient Survey)

### ※ 総患者数(傷病別推計)とは

総患者数とは、調査日現在において、継続的に医療を受けている者(調査日には医療施設で受療していない者も含む。)の数を次の算式により推計したものである。

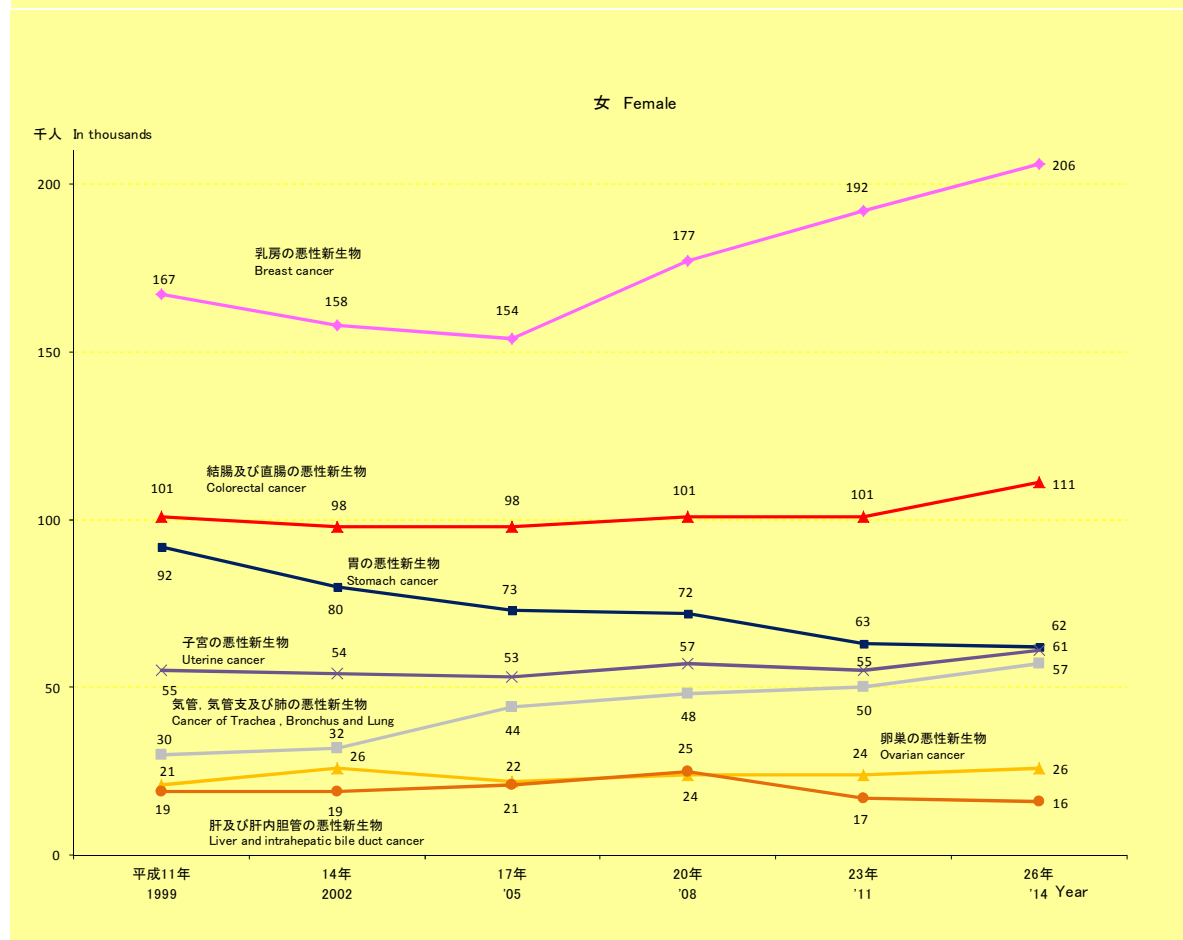
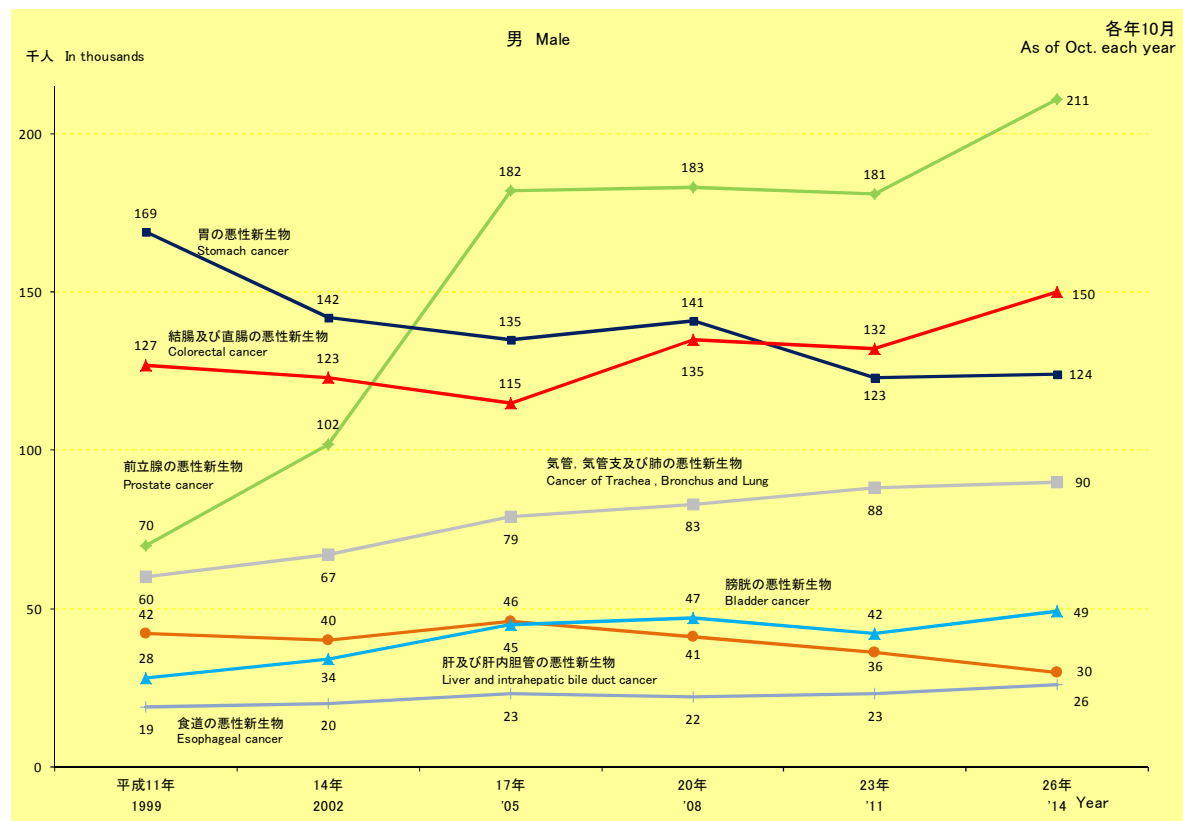
総患者数＝入院患者数＋初診外来患者数＋(再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数(6/7))



# 平成 26 年の悪性新生物の部位別の総患者数では、男は「前立腺の悪性新生物」、女は「乳房の悪性新生物」が最も多い

1-12 主要な悪性新生物別にみた総患者数の年次推移 —平成 11 年～平成 26 年—

Trends in estimated number of patients receiving medical treatment for major cancer, 1999-2014



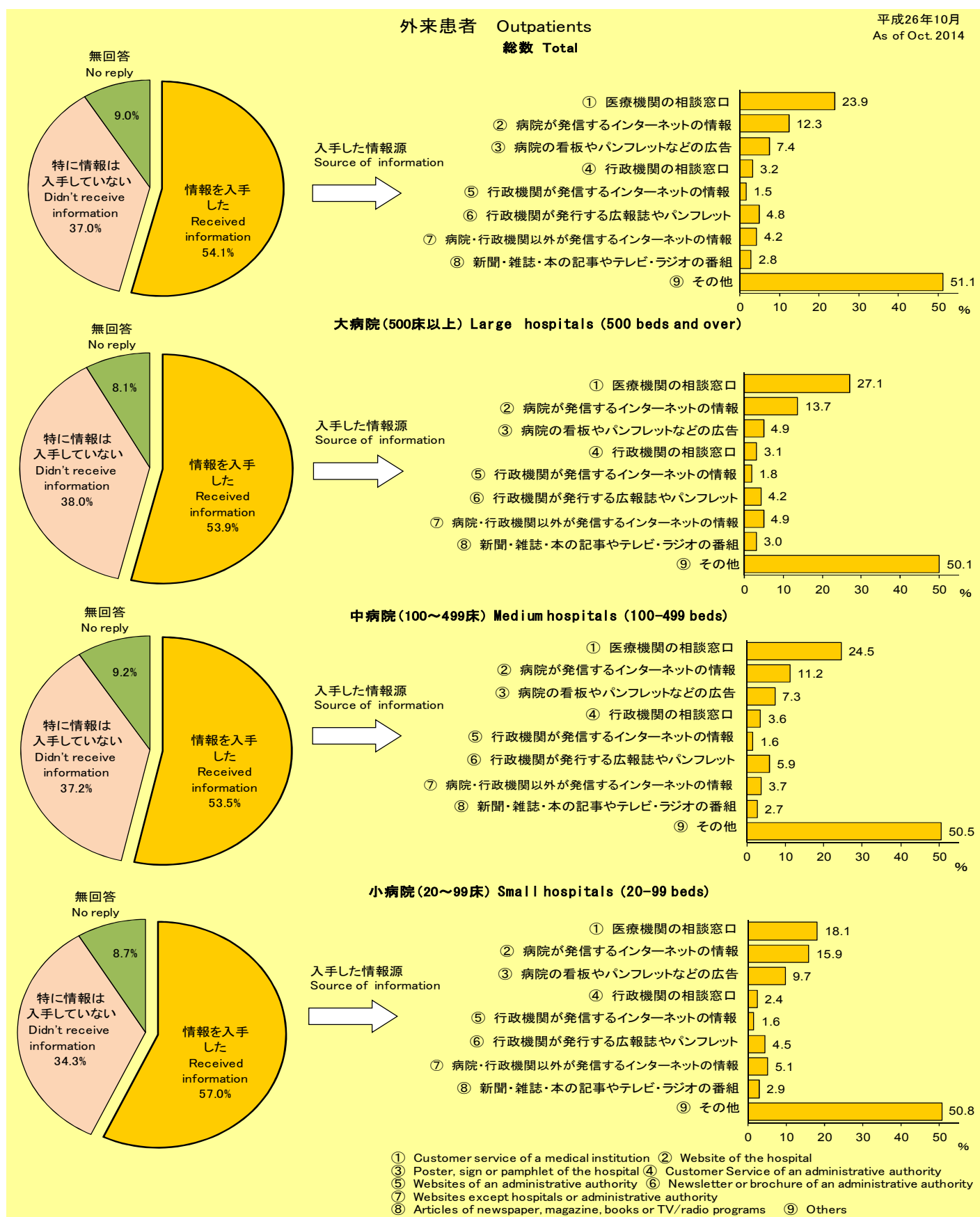
注:平成23年は、宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(患者調査)  
(Patient Survey)

# 患者の半数以上が病院受診前に何らかの情報を入手

1-13 病院の種類別にみた患者(外来・入院)の病院を選択する際の情報源(複数回答) —平成 26 年—

Source of any information for selecting the hospital, by hospital type (multiple answers allowed), 2014



注：1) 総数には特定機能病院と療養病床を有する病院を含む。

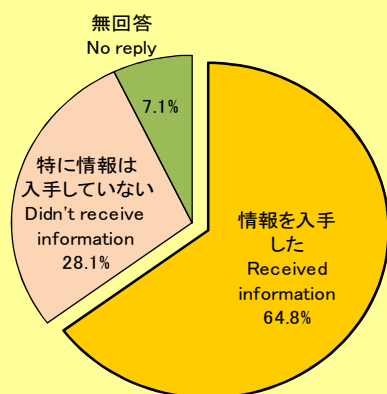
2) 棒グラフは「情報を入手した」と回答した者を100とした割合である。

(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)

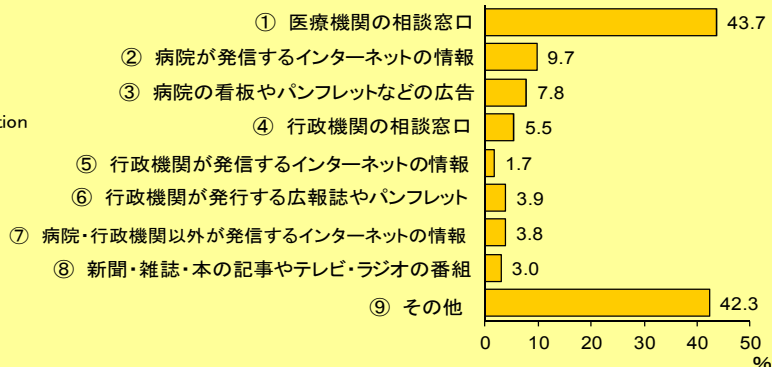
# 入院患者 Inpatients

平成26年10月  
As of Oct. 2014

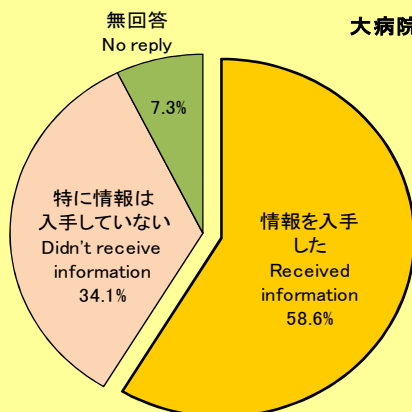
## 総数 Total



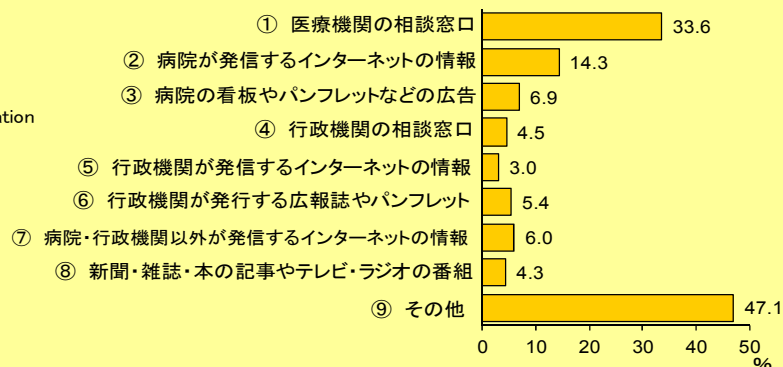
入手した情報源  
Source of information



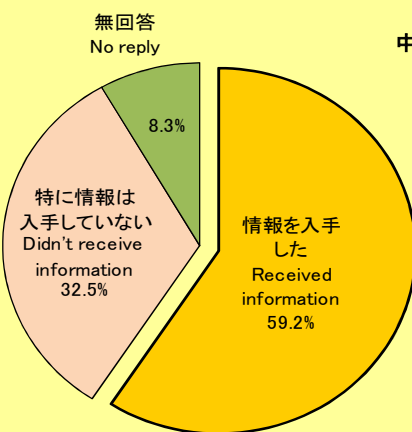
## 大病院(500床以上) Large hospitals (500 beds and over)



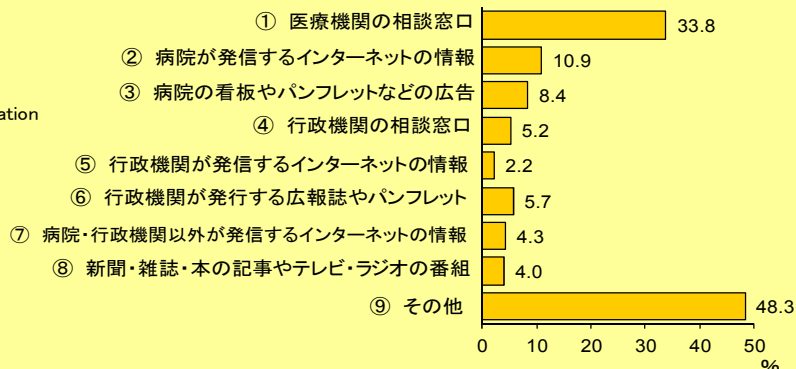
入手した情報源  
Source of information



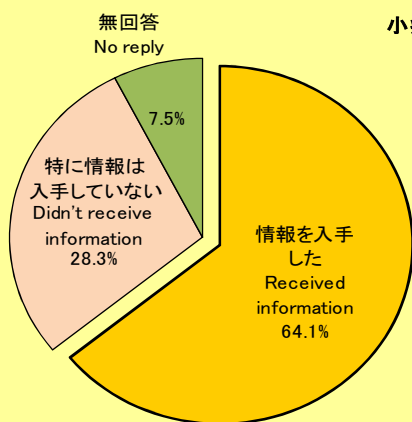
## 中病院(100~499床) Medium hospitals (100-499 beds)



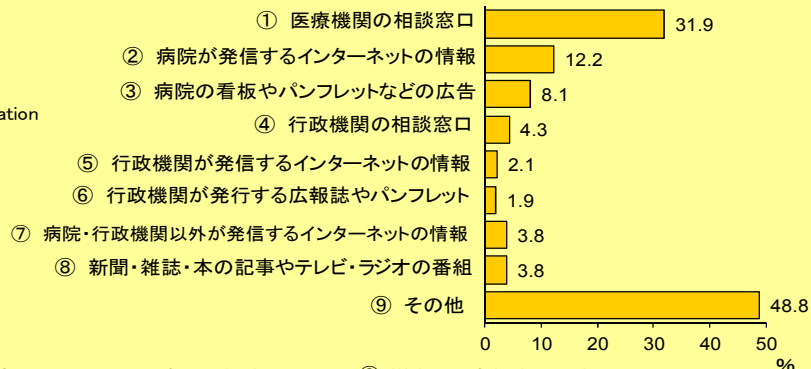
入手した情報源  
Source of information



## 小病院(20~99床) Small hospitals (20-99 beds)



入手した情報源  
Source of information



- ① Customer service of a medical institution ② Website of the hospital  
③ Poster, sign or pamphlet of the hospital ④ Customer Service of an administrative authority  
⑤ Websites of an administrative authority ⑥ Newsletter or brochure of an administrative authority  
⑦ Websites except hospitals or administrative authority  
⑧ Articles of newspaper, magazine, books or TV/radio programs ⑨ Others

注：1) 総数には特定機能病院と療養病床を有する病院を含む。

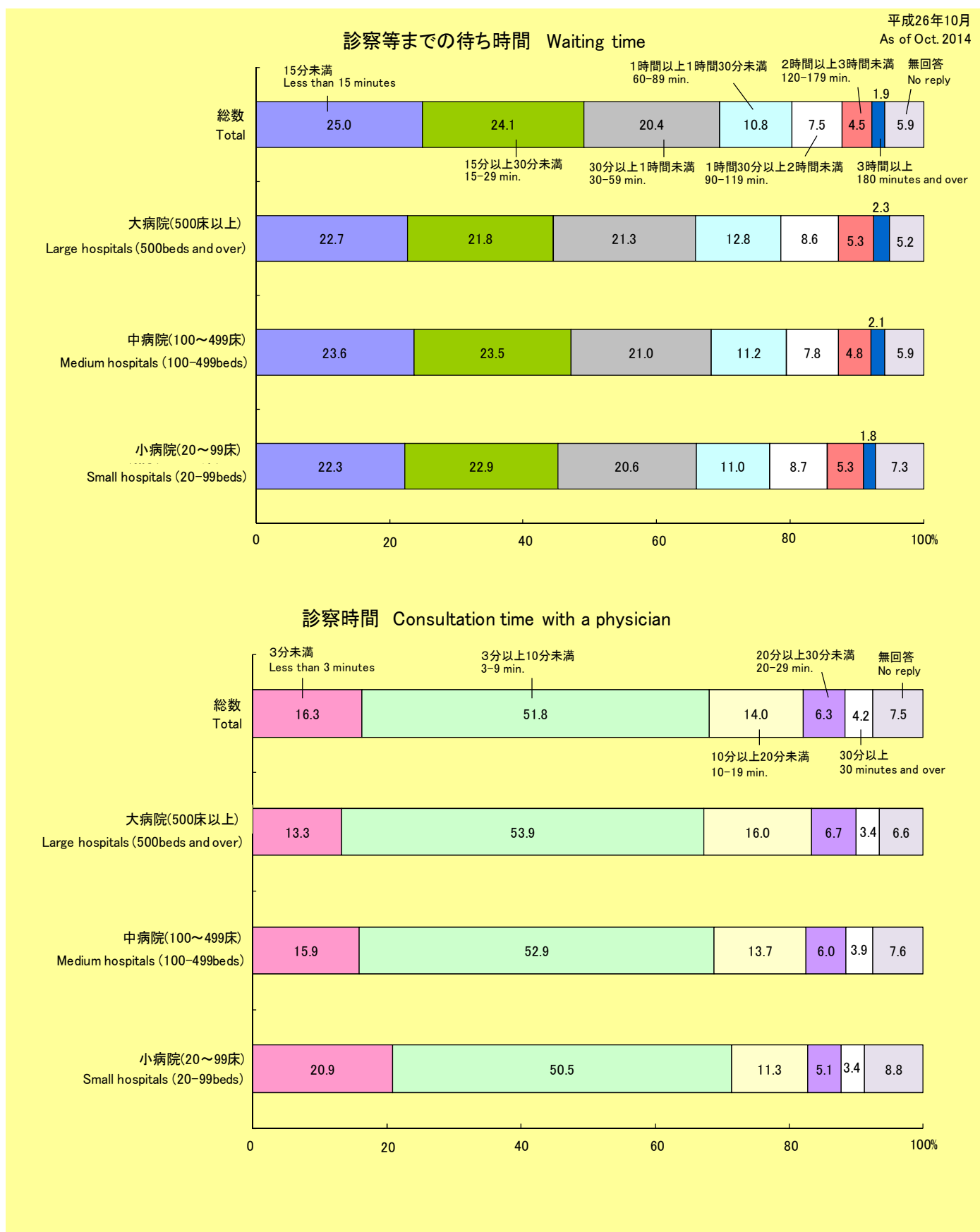
2) 棒グラフは「情報を入手した」と回答した者を100とした割合である。

(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)

# 外来患者の診察等までの待ち時間は「15 分未満」、診察時間は「3分以上 10 分未満」が最も多い

1-14 病院の種類別にみた外来患者の待ち時間と診察時間 ー平成 26 年ー

Waiting time and consultation time with a physician, by hospital type, 2014



注: 1) 総数には特定機能病院と療養病床を有する病院を含む。

2) 「診察等までの待ち時間」及び「診察時間」は、「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

(受療行動調査)

(Patient's Behavior Survey)

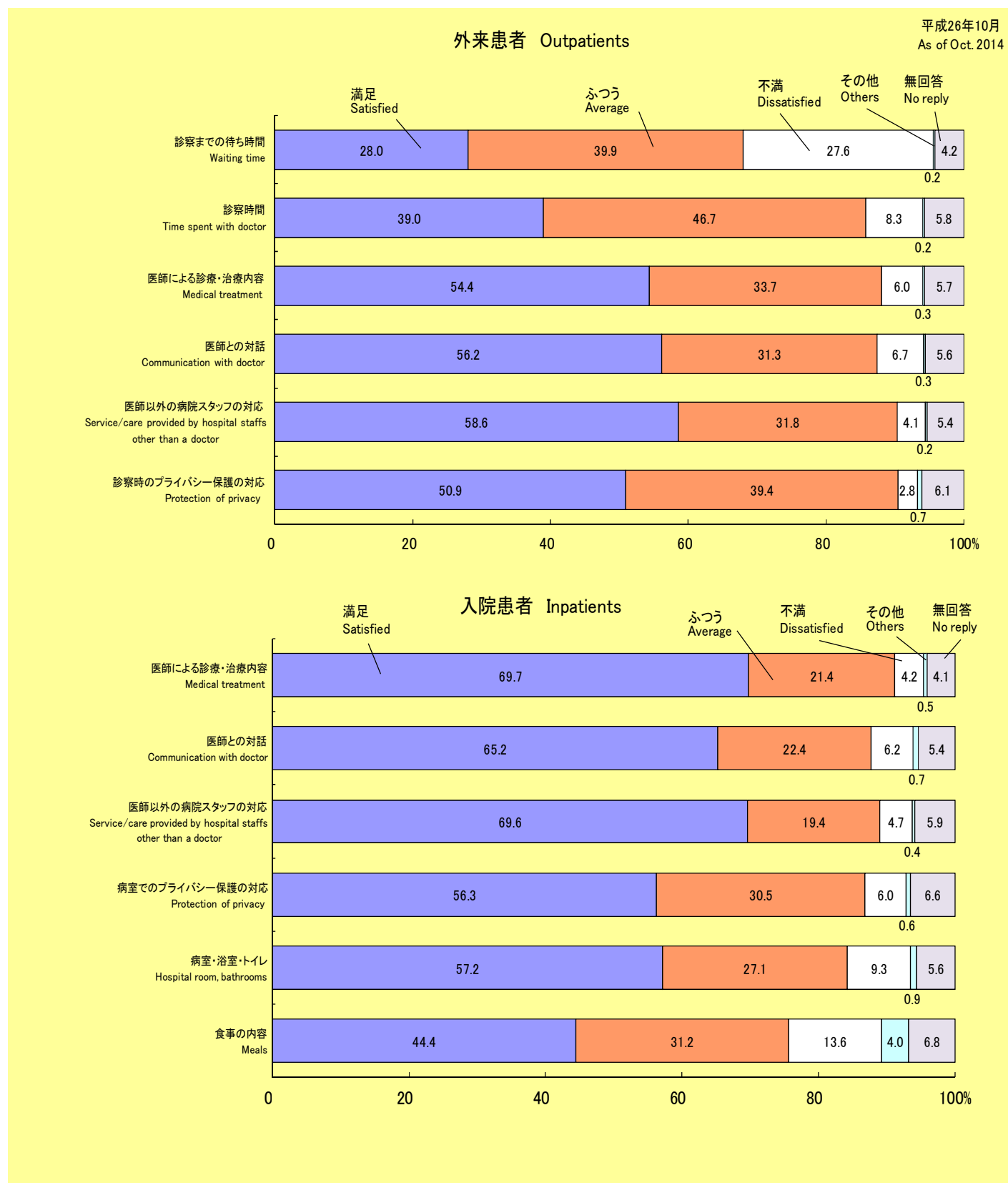
「満足」で多いのは、外来患者「医師以外の病院スタッフの対応」、

入院患者「医師による診療・治療内容」

「不満」で多いのは、外来患者「診察までの待ち時間」、入院患者「食事の内容」

1-15 病院に対する満足度 ー平成26年ー

Percentage distribution of patient's satisfaction with the hospital, 2014



注:「診察までの待ち時間」及び「診察時間」は、「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

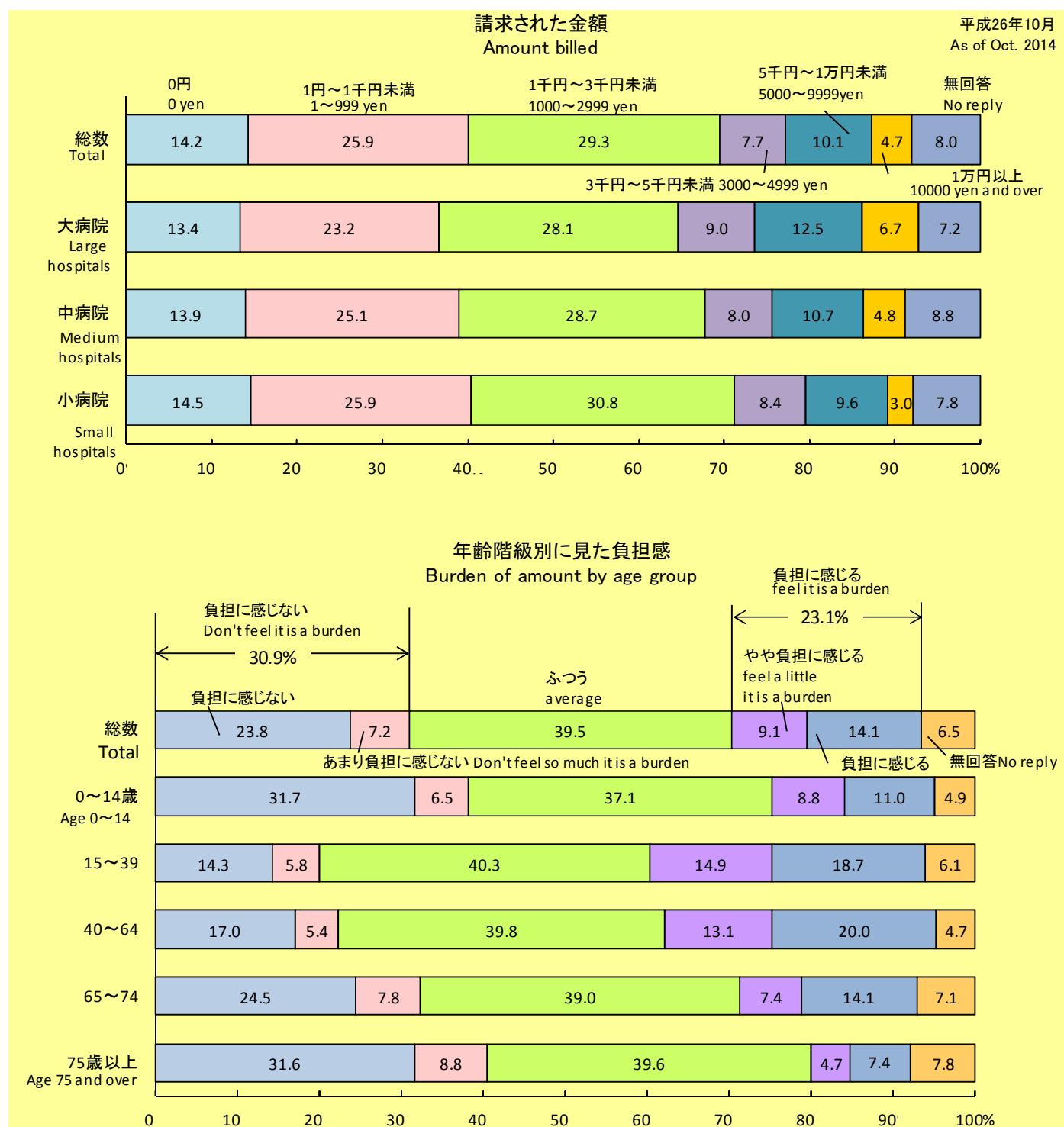
(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)



## 外来患者が病院で請求された金額は、「1 千円～3 千円未満」が最も多い

1-16 病院で請求された金額、病院で請求された金額に対する負担感 ー平成 26 年ー

Amount billed at the hospital and burden of expense billed at the hospital, 2014



注: 1)負担感は、病院で請求された金額が「0円」の者を除いた数値である。

2)外来患者について調査した数値である。

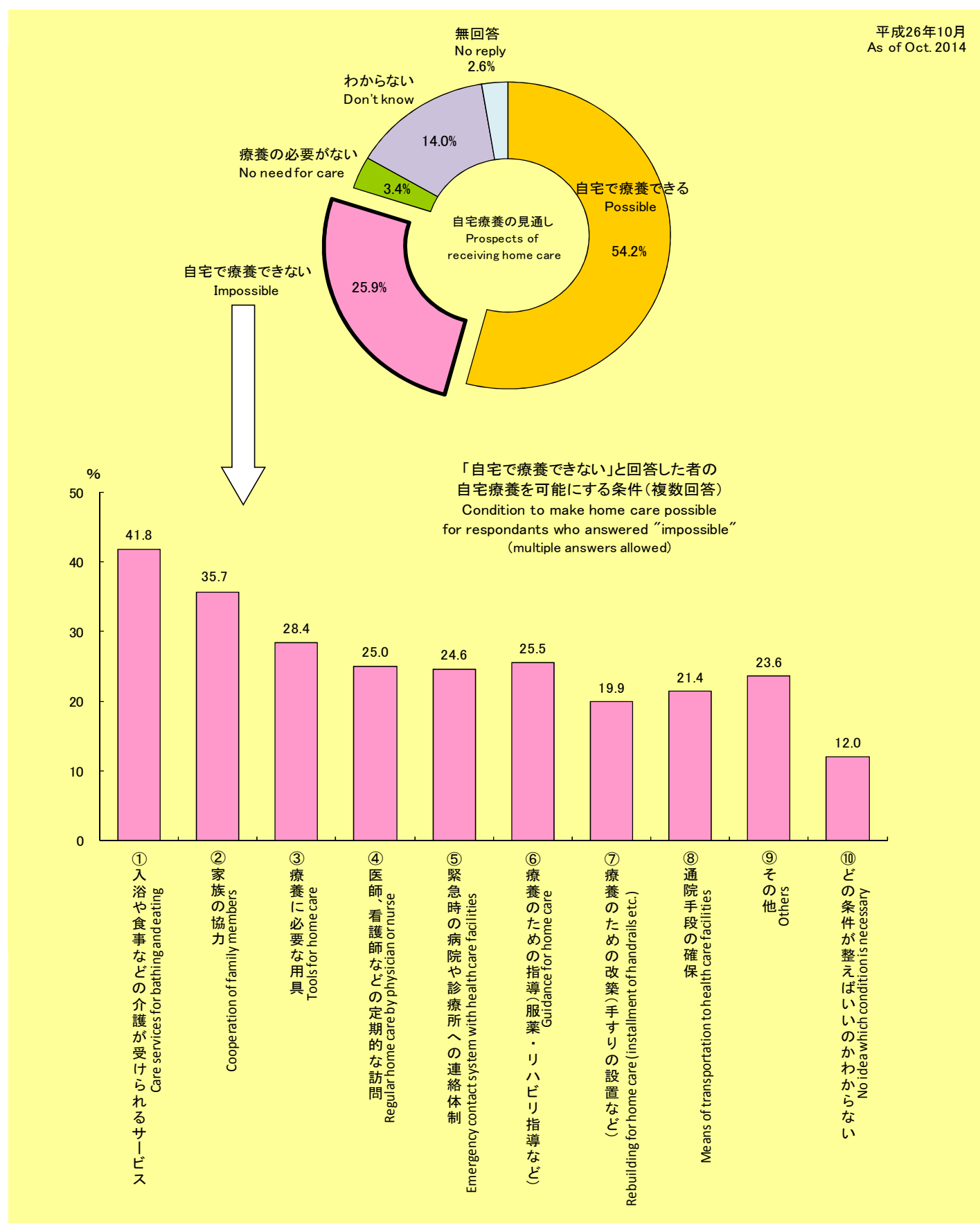
3)年齢の総数には年齢不詳を含む。

(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)

## 「自宅療養を可能にする条件」は「介護サービス」が最も多い

1-17 入院患者の退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し・自宅療養を可能にする条件(複数回答) —平成26年—

Prospects receiving home care (multiple answers allowed), 2014



注: 棒グラフは、「自宅で療養できない」と回答した者を100とした割合である。

(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)

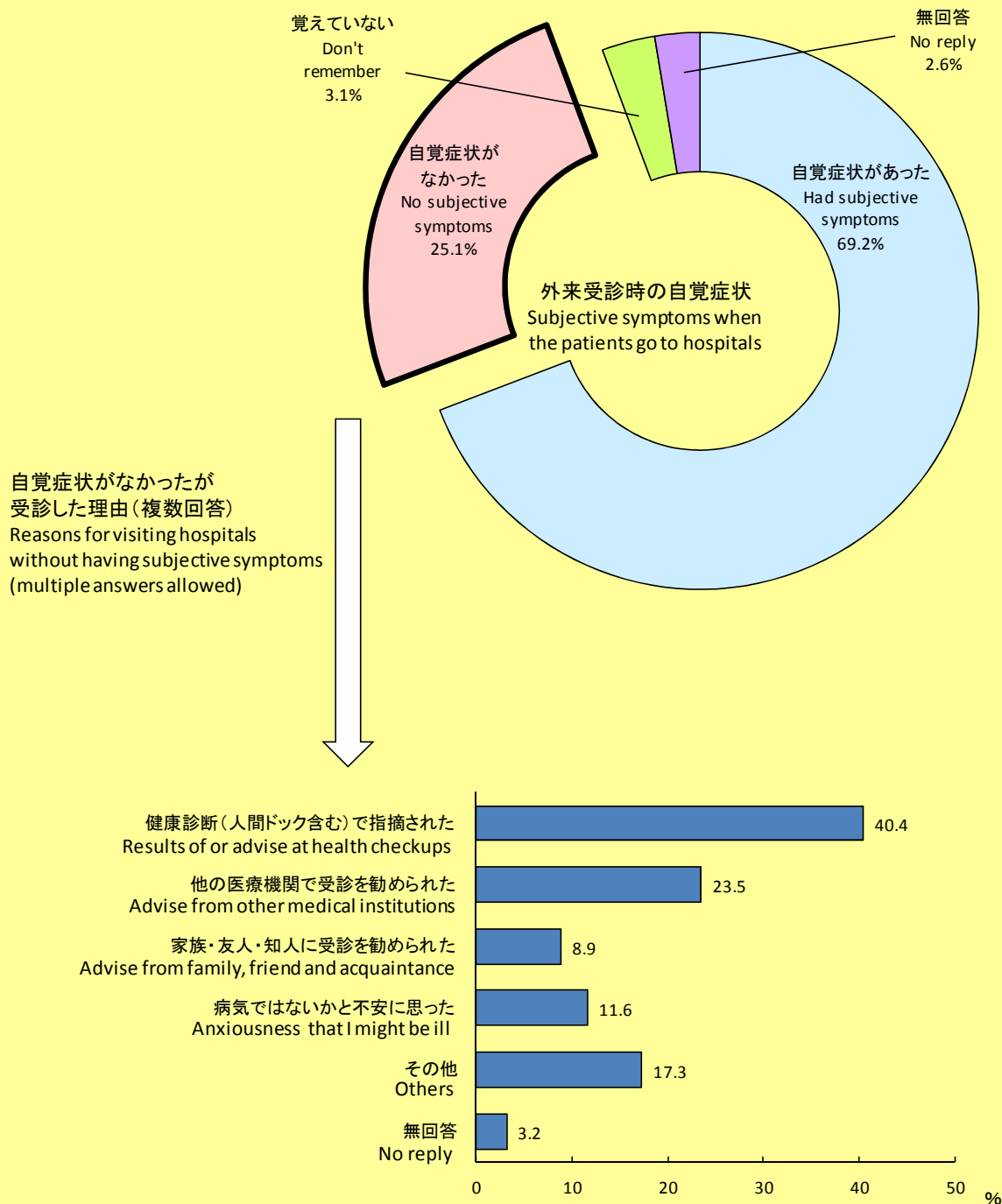
## 外来患者の約 4 分の 1 が外来受診時に「自覚症状がなかった」

1-18 自覚症状 —平成 26 年—

Subjective symptoms, 2014

自覚症状の有無、自覚症状がなかったが受診した理由  
Subjective symptoms, and reasons for visiting hospitals  
without having subjective symptoms (multiple answers allowed)

平成26年10月  
As of Oct. 2014

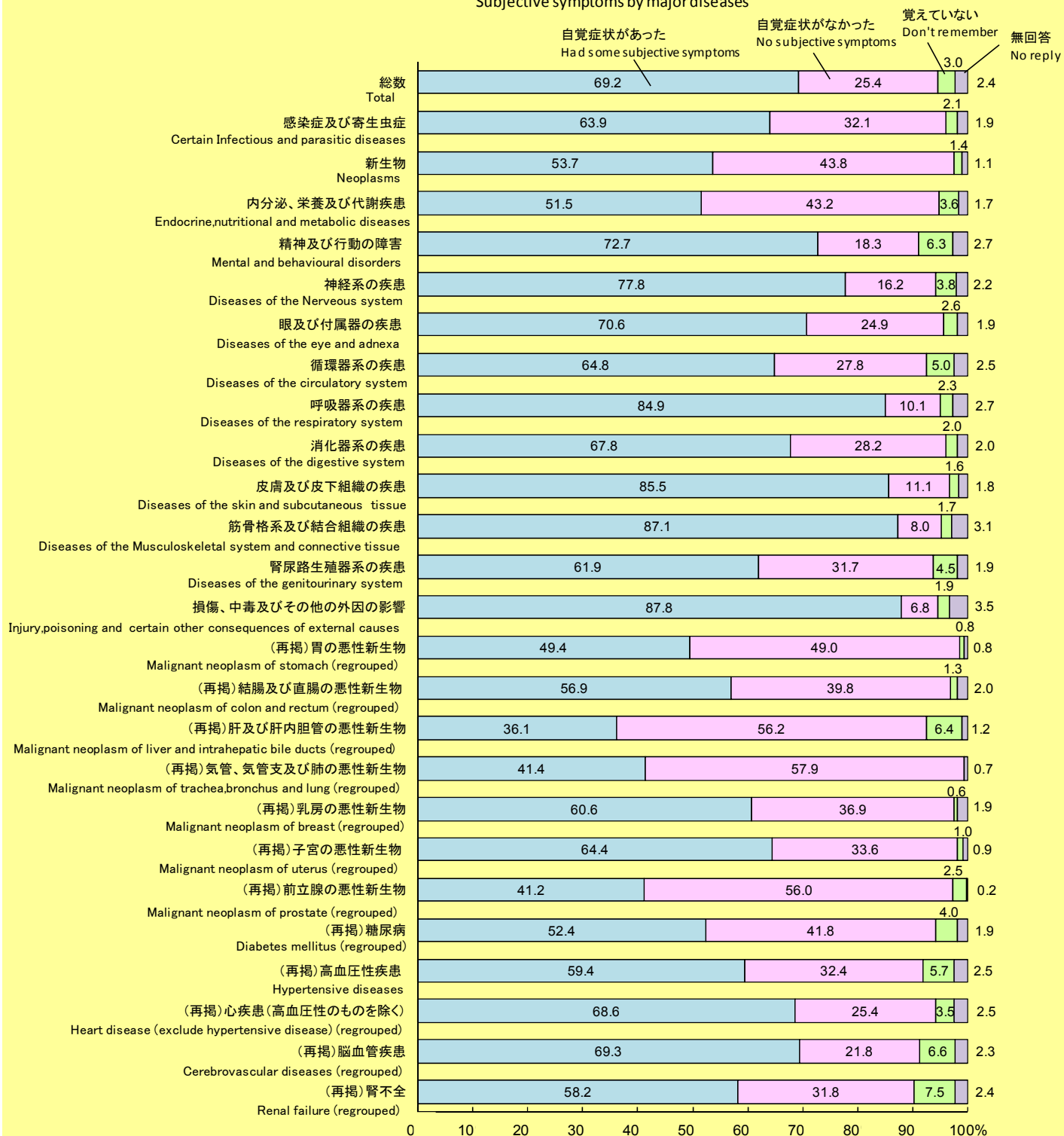


注: 棒グラフは「自覚症状がなかった」と回答した者を100とした割合である。

(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)

主な疾患別自覚症状の有無  
Subjective symptoms by major diseases

平成26年10月  
As of Oct. 2014



注: 傷病分類は「疾病、傷害および死因統計分類(ICD-10)(2003年版)準拠」による。

(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)